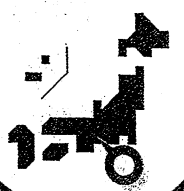


愛知県豊明市の
取り組み

障がい者がイキイキと働ける場を

「農園誘致」で広げていく

【豊明市】



豊明市(愛知県)は昨年、障がい者雇用を目的とした民間運営の農園を誘致した。これは、障がい者雇用を法的に義務づけられているものの、適した職場を提供できない企業と障がい者を「農園就労」でマッチングするもの。この仕組みを提供するエスプールプラスは、6年間で約550人の障がい者に一般就労の場を提供している。自治体としては全国初となる、誘致の経緯や反響について、同市の小浮市長と担当課長に話を聞いた。

本当に自立するためには生活できる「雇用」が必要

なぜ、障がい者雇用を目的とした農園を誘致したのですか。

当市は社会福祉法人やNPO法人の協力のもと、就労訓練や働く

豊明市長
小浮 正典
こぶき まさひろ



場を提供していますが、生活できるほどの給与の雇用ではないため、障がい者の経済的自立につながっているわけではありません。どの自治体関係者も、障がい者の自立を強く願っています。ただ、そのためには企業雇用が必要なのです。

そんななか、平成27年12月の市議会でも、「千葉県に、多くの障がい者が一般就労で働く農園がある」と報告があったので、さっそく視察へ。農園を運営するエスプールプラス社から話を聞き、障がい者の法定雇用率を達成したい企業と障がい者の就労ニーズを、みごと

にマッチさせる事業だと理解しました。障がい者に対し、事前につきり農業研修している点も評価。そしてなにより、イキイキと働くみなさんの姿が印象的でした。同社に、「当市にも同じ農園をぜひつくってほしい」とお願いし、市役所内に誘致のためのプロジェクトチームを発足しました。

—その後の経緯を教えてください。

平成28年11月に約3000坪の農園がオープンし、現在ほぼ定員の60人の障がい者が、農園を利用する企業に所属し就労。同社の働きかけで、雇用先である企業は市内外から広く集まりました。「企業に勤められるようになって本当にありがたい。ようやく、わたしたち親も安心できる」などと、障がい者の親御さんからも喜びの声が多数。この農園誘致が地域の障がい者雇用の受け皿となり、そして自立へとつながる。当市のほか、全国の自治体の課題を解決するひとつの大きな方法だと考えます。

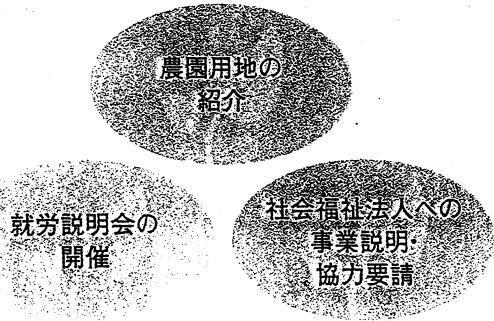
※障がい者の法定雇用率：障害者雇用促進法によって一定規模以上の民間企業、地方公共団体などに義務づけられているもの。民間企業の場合は対象労働者数の2.0%。今後は段階的な引き上げが決まっており、平成30年4月には2.2%、平成33年3月末までには2.3%になる。

3つの部門が協働して誘致に向けて取り組む

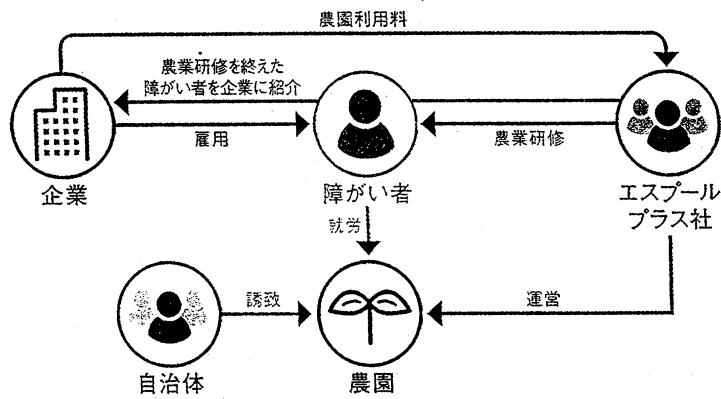
——農園誘致に向けてどのような取り組みをしましたか。

エスプールプラス社に対し農園用地の紹介、就労説明会の開催、社会福祉法人に対する農園事業の説明・協力要請を行いました。市長が発足したプロジェクトチームのもと、社会福祉、建設・都市計画、地域活性化の3つの部門が協働。早期に開園できるようにスピード感をもって取り組みました。用地については適切な市の保有地がなかったため、地主を同社に紹介。説明会は、当市在住の障がい者と

【豊明市が行った3つの取り組み】



【自治体誘致の障がい者向け就労農園の仕組み】



豊明市 社会福祉課長
中村 泰正
なかむら やすまさ

親御さん向けに3回実施しました。その結果、多くの障がい者の農園就労へとつながりました。今後ともわれわれ自治体が積極的に情報発信して、障がい者がどんどん外に出て自立できる社会をつくっていったらいいですね。

支援企業の視点

喜びや生きがいのある職場が
高い定着率へとつながる

——農園運営の仕組みを教えてください。

当社運営の農園を区分けにして、企業に貸し出します。企業はその農園を職場として、直接雇用した障がい者に働いてもらいます。当社が就労希望の障がい者に一定期間の農業研修を行い、適性判断後に企業へ紹介。「一般業務をまかせることは難しい」という企業でも、障がい者と親和性の高い農業であれば無理なく雇用できます。農園でいねいにつくられた農作物は、企業の福利厚生として従業員に配布され、行列ができるほど大人気。企業の障がい者雇用への理解を深めたり、従業員満足の向上などにつながっています。

——これまでの実績はどれくらいでしょうか。

千葉県と豊明市で合計8カ所運営しています。1カ所あたり約3000坪の広さです。利用企業は約120社、障がい者約550人の一般就労をサポートしてきました。また、安心できる就労環境のために、農園には障がい者3人にひとりの割合で農園の利用企業が管理者を雇用。地元のシルバート雇用促進にも役立っています。働く場所を

見つけられた障がい者に、「ずっとがんばってもらいたい」と強く想います。現在のところ、定着率は95%を誇っています。

——今後の支援方針をお聞かせください。

障がい者のみなさんが当社の農園で働くことで、約10万円の月収をえられます。経済的自立だけでなく、働く喜びや生きがいを感じてほしい。当農園に大きな期待が寄せられています。豊明市からの誘致を皮切りに全国各地で農園を開設する予定で、自治体と当社の協力が、障がい者の強力な就労支援につながると確信しています。

エスプールプラス

社長 執行役員
和田 一紀
わたかずのり

昭和50年、大阪府生まれ。平成8年に株式会社リクルート(現・株式会社リクルートホールディングス)入社。新規事業立ち上げを多く経験。平成18年に米国のフリーペーパーを発売する企業へ副社長として経営参画。その後「障がい者雇用×農業」に社会的意義を感じ、平成23年の株式会社エスプールプラス創業より参画。



問い合わせ先 ☎ 0120-982-655 (平日9:00~18:00) ✉ whf@spool.co.jp

PR